

(様式1)

1 自己評価及び外部評価結果

作成日 令和 元年 7月 22日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3473300659		
法人名	医療法人 社団 明和会		
事業所名	ラ・メール大野		
所在地	広島県廿日市市丸石2丁目3-35 (電話) 0829-50-4315		
自己評価作成日	令和元年6月17日	評価結果市町受理日	

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	<a href="http://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/34/index.php?action_kouhyou_detail_022_kani=true&amp;JigyosyoCd=3473300659-00&amp;ServiceCd=320&amp;Type=search">http://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/34/index.php?action_kouhyou_detail_022_kani=true&amp;JigyosyoCd=3473300659-00&amp;ServiceCd=320&amp;Type=search</a>
-------------	---

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	一般社団法人広島県シルバーサービス振興会
所在地	広島市南区皆実町一丁目6-29
訪問調査日	令和元年7月9日

【事業所が特に力を入れている点、アピールしたい点（事業所記入）】

<p>ラ・メール大野は海や山の近くに位置し季節感を感じながら生活できる環境になっている。病院併設の施設で医療面の支援体制については、入居者及びご家族に安心を提供している。また、地域密着型の施設として地域ふれあいミニサロン等へ毎月出向き、地域との交流を深め、入居者の方が地域で継続した生活が送れるように取り組んでいる。</p>
--

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

<p>季節感あふれる海や山に囲まれた住宅街に位置し、自然と人を感じる事が出来る環境を普段のケアに活かし、開かれた事業所として、地域からの訪問機会も多い。職員は地域のイベントを住民と共に企画し、また入居者が地域の掃除やふれあいサロンに出向く等、双方向の交流が続いている。同法人の隣接する医療機関との連携が密であり、介護職員は変化する医療情報を周知し、日頃のケアに繋げる体制を築いている。また本人家族の思い通りの居室の家具配置は、転倒予防の面からリハビリスタッフも介入し、（三食全て手作りの家庭的な）食事を美味しく食べて貰えるよう歯科スタッフと共に口腔環境や姿勢改善などに取り組んでいる。院内資格としてのマスター（食事口腔ケア・認知症ケア・接遇）取得制度があり、利用者個々の思いに耳を傾ける職員作りや、管理者を中心に安心できる現場になるように努めている事業所である。</p>
---

自己評価	外部評価	項目( 1ユニット )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I 理念に基づく運営</b>					
1	1	○理念の共有と実践  地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践に近づけている。	法人理念とグループホーム理念の共有を図り、その理念を念頭に置き、年間目標を立て、取り組んでいる。	開設時から変わらぬ理念をもとに、年間目標や具体的な課題を掲げて取り組んでおり、全職員が意識している。また管理者と共に、目標の達成状況や評価を繰り返し「個々を尊重した優しい対応」など日々のケアに繋げている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい  利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	地域清掃、地域行事の事前準備、地域行事にも参加している。ふれあいミニサロンにも毎月参加している。また、近隣の保育園とも月1回程度交流がある。年1回保育園児さんと交流ふれあいサロンに参加。定期的に傾聴ボランティアの方の来訪がある。	散歩時は近隣住民と日常的に挨拶をかわし、事業所は町内会組長としても地域活動をしており、利用者と共に行事や地域のサロン、清掃などに参加している。また保育園児やボランティアなど近隣からの訪問も多く、地域との双方向的な交流を続けている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献  事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	地域のふれあいミニサロンに入居者と参加したり、近隣中学校の職場体験実習や、特別支援学校の実習生を受け入れている。また法人全体で地域公開講座(年1回)を開催している。	/	/
4	3	○運営推進会議を活かした取組み  運営推進会議では、利用者やサービスの実績、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	運営推進会議2か月毎(第4月曜日)に開催している。行事の報告や、インシデント対策についての意見を聞いている。また近隣のグループホームの職員の参加もありケアに活かしている。	会議に毎回、家族代表・地域住民・地域包括支援センター・介護相談員・行政職員などの出席があり、事業所報告や日常の様子を伝えている。また質問や意見助言を受け、サービスに反映させるよう努めている。	
5	4	○市町との連携  市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	地域包括支援センター開催の地域ケアに参加している。(3ヶ月毎)運営推進会議に市職員、地域包括の方に出席をお願いしている。介護相談員(廿日市職員) 毎月来訪している。	市町関係者は、毎回の運営推進会議出席や、ラ・メールだよりを通じて事業所の様子や取り組みを伝え、客観的な助言を受ける事もある。また市町主催の研修に参加し、日頃から協力関係を築いている。	

自己評価	外部評価	項目( 1ユニット )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	<b>○身体拘束をしないケアの実践</b> 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	身体拘束防止のマニュアルを作成し、身体拘束について理解し、拘束のないケアに取り組んでいる。	管理者・職員は身体拘束廃止の意識を強く持ち、研修受講やチェックリストにて自己評価を行うとともに、職員間で互いにケア内容や声かけについて、振り返っている。玄関施錠は夜間のみとし、座布団センサーは、より良いケアのきっかけにしており、身体拘束は行われていない。	
7		<b>○虐待の防止の徹底</b> 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。	高齢者虐待についての研修会に参加し、また職場内で勉強会を開き、理解を深めるようにしている。		
8		<b>○権利擁護に関する制度の理解と活用</b> 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	職員は日常生活自立支援事業や、成年後見制度について理解している。		
9		<b>○契約に関する説明と納得</b> 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	入所前に入居者やご家族にホームに来訪して頂き、十分説明を行い、契約書などは一度持ち帰ってもらいご家族にもしっかりと確認していただいている。また改定等についても文書と口頭で十分な説明を行っている。		
10	6	<b>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</b> 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	8月・12月の年2回家族会を設け、ご家族の意見を聞いている。年に1回アンケート調査を実施し、年間目標に取り入れている。ご意見箱の設置をしている。	「家族会」は、家族が運営しており、職員は挨拶のみで退室し、忌憚のない意見を聴く体制がある。また、面会や電話で最近の暮らしぶりなどを伝える時、家族からの意見や要望を聴いている。例として、居室のクローゼットのドア工夫など、利用者中心の対応に繋がった例もある。	

自己評価	外部評価	項目( 1ユニット )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	両ユニット合同ミーティングを定期的 に開催したり、必要に応じて勤務時間 内に話し合いを行っている。	合同ミーティングや日頃の話し合い で、より良い対応やケア・業務改善に ついて意見を出し合っている。役割分 隊の見直しを行った結果、利用者 とゆったりと関わるケアに繋がった例も ある。また管理者は、職員の個別の課 題解決や人材育成にむけ、話し合う機 会を大切にしている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力 や実績、勤務状況を把握し、給与水 準、労働時間、やりがいなど、各自 が向上心を持って働けるよう職場環 境・条件の整備に努めている。	人事考課があり、職員一人ひとり を評価するシステムがある。また職員 に合った働き方改革制度がある。課題 解決に向け、副主任・リーダー・職員 と個別に話し合う機会を作り、取り組 んでいる。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとり のケアの実際と力量を把握し、法人 内外の研修を受ける機会の確保や、 働きながらトレーニングしていくこ とを進めている。	目標管理面接を取り入れ、法人内で定 期的に研修が開催されている。外部研 修も、職員希望があれば、研修を受講 できる体制がある。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と 交流する機会をつくり、ネットワー クづくりや勉強会、相互訪問等の活 動を通じて、サービスの質を向上さ せていく取組みをしている。	福祉施設職員相互研修に参加。他施設 と交流する機会も増え、お互いのサー ビスの質の向上に努めている。		
<b>II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、 本人が困っていること、不安なこ と、要望等に耳を傾けながら、本人 の安心を確保するための関係づくりに 努めている。	サービスの利用を開始する前に、来所 時に話を聞いたり、出向いてケアマネ ジャーやご本人と話をしたりしてい る。職員間で情報を共有し、対応して いる。また入所後も職員間で情報共有 し記録に残し、関係作りを大切にしてい る。		

自己評価	外部評価	項目( 1ユニット )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係  サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。	面談や面会時にコミュニケーションをしっかりと、ご家族の思いや意向を汲み取り、ご本人のご様子を報告したり、関係作りを大切にしている。		
17		○初期対応の見極めと支援  サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	入所時や、ケアカンファレンス前にご家族の要望・思いを聞き、話し合いをきちんと行い、他のサービスも含めた対応に努めている。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係  職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。	家事動作であったり、またご本人ができる、やっている趣味であったりを一緒に行ったり、共感したりお互いが支えあう関係作りに努めている。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係  職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。	年2回行事に参加して頂き、一緒に行く機会がある。またご本人の状況等を踏まえ面会時に話をしたり、ご家族に連絡したり、関係作りを大切にしている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援  本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	近隣の知り合いの方の面会がある。また以前から利用されている歯科医の往診があったりする。外出レクリエーションや季節行事を積極的に取り入れている。	面会は、その都度、利用者が望む場(居室かフロアか)で行い、知人との時間を楽しめるよう配慮している。また、阿品公園など馴染みの場所に出かける事を、外出レクやドライブとして計画し、途中、自宅前を通る順路にする事もある。気持ちに沿いながら関係性の継続支援がなされている。	

自己評価	外部評価	項目( 1ユニット )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援  利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	職員が利用者同士の関係を把握した上で、職員が間に入りそれぞれの利用者ができることをやって、お互いに関わる時間作りをしている。		
22		○関係を断ち切らない取組み  サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	退所後、ご家族より、相談や依頼があれば可能な限り対応している。		
<b>Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	○思いや意向の把握  一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	一人ひとりの思いや、意向の把握に努めている。困難な場合はご家族と共に話し合い思いを聞き、ご本人の生活スタイルを尊重している。	担当職員を中心に「その人らしさとは何だろうか?」「どんな暮らしを望んでいる?」など日常生活の何気ない会話や表情から丁寧に汲み取っている。その情報は個別のスケジュール表にケアプランと共に掲げ皆で共有している。	
24		○これまでの暮らしの把握  一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	使い慣れた日用品や、思い出の品を持って来てもらい、ご本人やご家族より、その方の生活スタイルを聞き、できるだけ、その方の環境に合わせ、変化があればその都度より良い方法を検討している。		
25		○暮らしの現状の把握  一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	ご本人の出来る事や職員の気づきを記録に繋げ、共有している。継続していくことで現状の把握に努めている。定期的に体重測定・バイタルチェックを行い、健康管理に努めている。		

自己評価	外部評価	項目( 1ユニット )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<b>○チームでつくる介護計画とモニタリング</b> 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。	ご本人の思いやご家族の思いを聞き、課題や、ケアのあり方について事前に話し合い介護計画に反映させている。	担当者が中心となって収集した本人家族の思いや受診結果等の情報をもとに、計画作成者がアセスメントを行い話し合い後にケアプランを交付している。課題・本人家族の思い・ケア内容など定期的或いは必要時に評価を行い介護計画は、利用者の現状にあったものとなっている。	
27		<b>○個別の記録と実践への反映</b> 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。	日々の様子やケア内容を記録したり、気づきや工夫を職員連絡ノートや個人連絡ノートで情報共有している。		
28		<b>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</b> 本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。	法人内の福祉用具販売部門を通しておむつや福祉用具の購入も可能となっている。		
29		<b>○地域資源との協働</b> 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。	地域サロンへ参加。ボランティアの方が訪問し、朗読会。介護相談員・民生委員が毎月来所。		
30	11	<b>○かかりつけ医の受診診断</b> 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。	ご本人・ご家族の意向を聞き、医療機関で受診や往診ができるようにしている。受診・往診時必要な情報をきちんと伝え協働している。また、必要であれば受診時ご家族に付き添いをお願いしている。当院併設の病院の活用	職員は、隣接する母体医療機関への定期或いは臨時の受診や往診に同行し、日頃の様子を報告するとともに、情報は受診ノートに記載し、ケアに繋げている。家族協力のもと他院への受診時には、書面にて情報提供を行い、また訪問歯科など適切な医療が受けられるよう支援をしている。	

自己評価	外部評価	項目( 1ユニット )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<b>○看護職員との協働</b> 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	併設病院の看護師と連携し、また職場内にも看護師がおり、医療が受けられるように相談しながら行っている。		
32		<b>○入退院時の医療機関との協働</b> 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	ご家族に、入院中は3ヶ月居室の待機が出来ることを説明し、期間内に入院先の相談員と連携を図り、状況把握や今後の方向性について話し合いを行っている。		
33	12	<b>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</b> 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	入居時、重度化した場合と、終末期の在り方についての意向を確認し、方針を決めている。	重度化した場合や終末期においては、医療スタッフ・事業所間で情報共有や検討を重ね、改めて家族の意向を確認し、母体の医療機関に繋げている。	
34		<b>○急変や事故発生時の備え</b> 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	夜間緊急対応、急変時、事故発生時のマニュアルを作成し、共有している。また法人内のAED等の勉強会に参加している。		
35	13	<b>○災害対策</b> 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	市が掲示している資料を基に災害マニュアルを作成し、職員に周知を図っている。	年2回、消防署と連携し昼夜想定の実地訓練を行っている。職員は、避難経路や誘導方法を周知し、利用者にもタイミングをみて避難場所などを伝えている。有事には隣接する医療機関や近隣の同法人施設も含め、法人全体で協力できる体制が築かれている。	



自己評価	外部評価	項目( 1ユニット )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
きんきゆう					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保  一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	一人ひとりの思いや、性格を知り、その方のペースに合わせることを心掛けている。	日頃から「その人らしさ」を大切にしたい「一対一」の対応を心掛けている。職員は穏やかな口調で話かけ、また利用者のペースに合わせる等、個々を尊重した対応に努めている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援  日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	ご本人の思い・出来る事をやっていく中でその方のペースに合わせて、日々取り組んでいる。発見・気づきを職員間で共有し把握している。		
38		○日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	その日の体調や、ご本人の様子を伺いながら、一人ひとりのペースに合わせて、対応している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援  その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	外部より2回/月美容師が訪問しており、カットやパーマ・カラーの希望があれば受け付けている。化粧であったり、着ている洋服、本人好みのおしゃれができるようにご家族と一緒に共有する機会がある。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	誕生月には、ご本人・ご家族から好物だったメニューを聞き、食事を提供している。野菜の皮むき・お盆拭き・食器洗い・片付け等、ご本人のペースに合わせて、行ってもらっている。	多くの食材を用い、三食全て手作りの家庭料理を提供している。食事中は懐メロのBGMが流れ、穏やかな雰囲気の中、利用者と職員の自然な会話がある。皿、椀、盆の傾斜など個々の状態に合わせて食べやすく工夫している。利用者は味付けやお盆洗いにも参加しており、力を発揮して貰っている。	

自己評価	外部評価	項目( 1ユニット )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<b>○栄養摂取や水分確保の支援</b>  食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。	栄養補助食品を取り入れたり、併設病院の医師と連携してアドバイス、助言をもらっている。記録を通して食事量・水分量・体重の増減を把握し栄養バランスに気を付けている。また注意する項目を表にして職員間で把握している。		
42		<b>○口腔内の清潔保持</b>  口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。	院内の認定資格の食事・口腔マスターが4名おり、日々の口腔ケアに取り組んでいる。また1回/月併設病院の歯科衛生士に指導してもらったり、口腔内の異常があれば連携している。		
43	16	<b>○排泄の自立支援</b>  排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。	排泄の記録を元に排泄パターンの把握。日中はトイレに誘導し排泄を促している。	職員は個々の排泄パターンや言動から察知し、さりげなくトイレに誘導を行っている。共同フロアから少し奥にあるトイレは、安心のスペースとなっており、入居当時より随分、失敗が減った例もあり、排泄の自立支援がなされている。	
44		<b>○便秘の予防と対応</b>  便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。	排泄の記録を元に排泄パターンの把握。水分補給やヨーグルト・牛乳を定期的に提供。予防として、排便体操や活動量を増やし対応している。食事にて便通の良いものを提供している。		
45	17	<b>○入浴を楽しむことができる支援</b>  一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている。	基本は2日に1回の入浴ペースで行っている。ご本人の意思に合わせて、時間の調整をしたり、同性の希望があれば希望にそうように対応している。	週3回位のペースで、午前か午後の入浴が可能となっており、本人に入浴剤を選んで貰う事もある。気が進まない利用者には、言葉かけの工夫や時間変更を試み、個々の気持ちに添う対応となっている。	

自己評価	外部評価	項目( 1ユニット )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。</p>	<p>日中の活動量を増やす、散歩に行くなどその日の状況にもよるが、1人ひとりの習慣を考慮し対応している。</p>		
47		<p>○服薬支援</p> <p>一人ひとりを使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。</p>	<p>医師の指示のもと、それぞれの利用者の薬を把握するため、服薬表を作成し、表で照らし合わせ、服薬前・服薬後の確認をしている。</p>		
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。</p>	<p>それぞれの役割(家事動作・散歩・趣味等)をもった生活ができるように、また毎日続けられるように支援している。</p>		
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。</p>	<p>行事レクのドライブ、近隣への散歩、地域のふれあいミニサロンなどご本人の希望を聞いたりして、外出している。その都度ご家族に、ご様子を報告している。</p>	<p>普段は、近隣の散歩やホーム前の椅子に座って季節を感じて貰ったり気分転換を図っている。花見や紅葉狩りなどの外出を要望される方全員が参加できるよう計画し工夫している。また地域のサロンや保育園など地域とつながる外出支援も継続されている。</p>	
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。</p>	<p>今現在ホームでお金を預かっている方はおられないが、ご本人がお金の管理、持つことの大切さ、思いがあれば必要に応じて対応したい。</p>		

自己評価	外部評価	項目( 1ユニット )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。</p>	<p>ご家族へ連絡を取りたいと言われるときは状況に応じて対応している。また1名程度であるが、携帯を持っておられ毎日ご家族とやりとりしている。</p>		
52	19	<p>○居心地の良い共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>エントランスには写真を飾り、また民生委員の方が、季節感のある壁画を持ってきて下さり、玄関や居間に飾っている。</p>	<p>玄関先には色々な小花が咲き、玄関には月々の季節感のある水彩画が飾られている。共同フロアのテーブルやソファは、個々が居心地よく過ごせるよう配置を工夫している。更に、高さ調整が出来る机や姿勢改善を加味した壁テレビの設置など、身体面も考慮した環境作りがなされている。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。</p>	<p>畳や、ソファがあり、思い思いにくつろげる空間がある。テーブルや椅子は1人ひとりに合った高さになっている。</p>		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>入所時にご本人の使い慣れたものや、愛着のあるものを持ってきてもらい、安心して過ごせるように工夫している。ご本人の状況の変化によっては、リハビリスタッフと相談しながらご本人の環境設定を工夫している。</p>	<p>居室には使い慣れた椅子、机、ソファや大正琴、人形などを置き、出入口にはのれんを用い、個々が安心して過ごせるよう支援している。また、転倒予防の為に、リハビリ職員や家族と家具配置の検討や、ベット移乗時の歩行器や車いすの位置を定め、床テープで印を付ける等の工夫をしている。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。</p>	<p>ご本人ができることは見守りながら行って頂けるようにしている。手すりを使用・椅子の設置・補助具の設置場所等工夫している。</p>		

V アウトカム項目( ) ← 左記( )内へユニット名を記入願います			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ毎日のように <input type="radio"/> ②数日に1回程度 <input type="radio"/> ③たまに <input type="radio"/> ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	<input type="radio"/> ①大いに増えている <input type="radio"/> ②少しずつ増えている <input type="radio"/> ③あまり増えていない <input type="radio"/> ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> ②職員の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③職員の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③利用者の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> ②家族等の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③家族等の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどできていない

自己評価	外部評価	項目( 2ユニット )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践  地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践に近づけている。	法人理念とグループホーム理念の共有を図り、その理念を念頭に置き、年間目標を立て、取り組んでいる。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい  利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	地域清掃、地域行事の事前準備、地域行事にも参加している。ふれあいミニサロンにも毎月参加している。また、近隣の保育園とも月1回程度交流がある。年1回保育園児さんと交流ふれあいサロンに参加。定期的に傾聴ボランティアの方の来訪がある。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献  事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	地域のふれあいミニサロンに入居者と参加したり、近隣中学校の職場体験実習や、特別支援学校の実習生を受け入れている。また法人全体で地域公開講座(年1回)を開催している。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み  運営推進会議では、利用者やサービスの実績、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	運営推進会議2か月毎(第4月曜日)に開催している。行事の報告や、インシデント対策についての意見を聞いている。また近隣のグループホームの職員の参加もありケアに活かしている。		
5	4	○市町との連携  市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	地域包括支援センター開催の地域ケアに参加している。(3ヶ月毎)運営推進会議に市職員、地域包括の方へ出席をお願いしている。介護相談員(廿日市職員) 毎月来訪している。		

自己評価	外部評価	項目( 2ユニット )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	<b>○身体拘束をしないケアの実践</b> 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	身体拘束防止のマニュアルを作成し、身体拘束について理解し、拘束のないケアに取り組んでいる。		
7		<b>○虐待の防止の徹底</b> 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。	高齢者虐待についての研修会に参加し、また職場内で勉強会を開き、理解を深めるようにしている。		
8		<b>○権利擁護に関する制度の理解と活用</b> 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	職員は日常生活自立支援事業や、成年後見制度について理解している。		
9		<b>○契約に関する説明と納得</b> 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	入所前に入居者やご家族にホームに来訪して頂き、十分説明を行い、契約書などは一度持ち帰ってもらいご家族にもしっかり確認していただいている。また改定等についても文書と口頭で十分な説明を行っている。		
10	6	<b>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</b> 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	8月・12月の年2回家族会を設け、ご家族の意見を聞いている。年に1回アンケート調査を実施し、年間目標に取り入れている。ご意見箱の設置をしている。		



自己評価	外部評価	項目( 2ユニット )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>両ユニット合同ミーティングを定期的 に開催したり、必要に応じて勤務時間 内に話し合いを行っている。</p>		
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力 や実績、勤務状況を把握し、給与水 準、労働時間、やりがいなど、各自 が向上心を持って働けるよう職場環 境・条件の整備に努めている。</p>	<p>人事考課があり、職員一人ひとりを評 価するシステムがある。また職員に 合った働き方改革制度がある。課題解 決に向け、副主任・リーダー・職員と 個別に話し合う機会を作り、取り組ん でいる。</p>		
13		<p>○職員を育てる取組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとり のケアの実際と力量を把握し、法人 内外の研修を受ける機会の確保や、 働きながらトレーニングしていくこ とを進めている。</p>	<p>目標管理面接を取り入れ、法人内で定 期的に研修が開催されている。外部研 修も、職員希望があれば、研修を受講 できる体制がある。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と 交流する機会をつくり、ネットワー クづくりや勉強会、相互訪問等の活 動を通じて、サービスの質を向上さ せていく取組みをしている。</p>	<p>福祉施設職員相互研修に参加。他施設 と交流する機会も増え、お互いのサー ビスの質の向上に努めている。</p>		
<b>II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、 本人が困っていること、不安なこ と、要望等に耳を傾けながら、本人 の安心を確保するための関係づくりに 努めている。</p>	<p>サービスの利用を開始する前に、来所 時に話を聞いたり、出向いてケアマネ ジャーやご本人と話をしたりしてい る。職員間で情報を共有し、対応して いる。また入所後も職員間で情報共有 し記録に残し、関係作りを大切にしてい る。</p>		

自己評価	外部評価	項目( 2ユニット )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係  サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。	面談や面会時にコミュニケーションをしっかりと、ご家族の思いや意向を汲み取り、ご本人の様子を報告したり、関係作りを大切にしている。		
17		○初期対応の見極めと支援  サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	入所時や、ケアカンファレンス前にご家族の要望・思いを聞き、話し合いをきちんと行い、他のサービスも含めた対応に努めている。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係  職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。	家事動作であったり、またご本人ができる、やっている趣味であったりを一緒に行ったり、共感したりお互いが支えあう関係作りに努めている。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係  職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。	年2回行事に参加して頂き、一緒に行う機会がある。またご本人の状況等を踏まえ面会時に話をしたり、ご家族に連絡したり、関係作りを大切にしている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援  本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	近隣の知り合いの方の面会がある。また以前から利用されている歯科医の往診があったりする。外出レクリエーションや季節行事を積極的に取り入れている。		

自己評価	外部評価	項目( 2ユニット )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援  利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	職員が利用者同士の関係を把握した上で、職員が間に入りそれぞれの利用者ができることをやって、お互いに関わる時間作りをしている。		
22		○関係を断ち切らない取組み  サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	退所後、ご家族より、相談や依頼があれば可能な限り対応している。		
<b>Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	○思いや意向の把握  一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	一人ひとりの思いや、意向の把握に努めている。困難な場合はご家族と共話し合い思いを聞き、ご本人の生活スタイルを尊重している。		
24		○これまでの暮らしの把握  一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	使い慣れた日用品や、思い出の品を持って来てもらい、ご本人やご家族より、その方の生活スタイルを聞き、できるだけ、その方の環境に合わせ、変化があればその都度より良い方法を検討している。		
25		○暮らしの現状の把握  一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	ご本人の出来る事や職員の気づきを記録に繋げ、共有している。継続していくことで現状の把握に努めている。定期的に体重測定・バイタルチェックを行い、健康管理に努めている。		

自己評価	外部評価	項目( 2ユニット )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<b>○チームでつくる介護計画とモニタリング</b> 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。	ご本人の思いやご家族の思いを聞き、課題や、ケアのあり方について事前に話し合い介護計画に反映させている。		
27		<b>○個別の記録と実践への反映</b> 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。	日々の様子やケア内容を記録したり、気づきや工夫を職員連絡ノートや個人連絡ノートで情報共有している。		
28		<b>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</b> 本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。	法人内の福祉用具販売部門を通しておむつや福祉用具の購入も可能となっている。		
29		<b>○地域資源との協働</b> 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。	地域サロンへ参加。ボランティアの方が訪問し、朗読会。介護相談員・民生委員が毎月来所。		
30	11	<b>○かかりつけ医の受診診断</b> 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。	ご本人・ご家族の意向を聞き、医療機関で受診や往診ができるようにしている。受診・往診時必要な情報をきちんと伝え協働している。また、必要であれば受診時ご家族に付き添いをお願いしている。当院併設の病院の活用		

自己評価	外部評価	項目( 2ユニット )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<b>○看護職員との協働</b> 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	併設病院の看護師と連携し、また職場内にも看護師がおり、医療が受けられるように相談しながら行っている。		
32		<b>○入退院時の医療機関との協働</b> 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	ご家族に、入院中は3ヶ月居室の待機が出来ることを説明し、期間内に入院先の相談員と連携を図り、状況把握や今後の方向性について話し合いを行っている。		
33	12	<b>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</b> 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	入居時、重度化した場合と、終末期の在り方についての意向を確認し、方針を決めている。		
34		<b>○急変や事故発生時の備え</b> 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	夜間緊急対応、急変時、事故発生時のマニュアルを作成し、共有している。また法人内のAED等の勉強会に参加している。		
35	13	<b>○災害対策</b> 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	市が掲示している資料を基に災害マニュアルを作成し、職員に周知を図っている。		

自己評価	外部評価	項目( 2ユニット )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保  一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	一人ひとりの思いや、性格を知り、その方のペースに合わせることを心掛けている。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援  日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	ご本人の思い・出来る事をやっていく中でその方のペースに合わせ、日々取り組んでいる。発見・気づきを職員間で共有し把握している。		
38		○日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	その日の体調や、ご本人の様子を伺いながら、一人ひとりのペースに合わせ、対応している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援  その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	外部より2回/月美容師が訪問しており、カットやパーマ・カラーの希望があれば受け付けている。化粧であったり、着ている洋服、本人好みのおしゃれができるようにご家族と一緒に共有する機会がある。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	誕生月には、ご本人・ご家族から好物だったメニューを聞き、食事を提供している。野菜の皮むき・お盆拭き・食器洗い・片付け等、ご本人のペースに合わせ、行ってもらっている。		

自己評価	外部評価	項 目( 2ユニット )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<b>○栄養摂取や水分確保の支援</b>  食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。	栄養補助食品を取り入れたり、併設病院の医師と連携してアドバイス、助言をもらっている。記録を通して食事量・水分量・体重の増減を把握し栄養バランスに気を付けている。また注意する項目を表にして職員間で把握している。		
42		<b>○口腔内の清潔保持</b>  口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。	院内の認定資格の食事・口腔マスターが4名おり、日々の口腔ケアに取り組んでいる。また1回/月併設病院の歯科衛生士に指導してもらったり、口腔内の異常があれば連携している。		
43	16	<b>○排泄の自立支援</b>  排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。	排泄の記録を元に排泄パターンの把握。日中はトイレに誘導し排泄を促している。		
44		<b>○便秘の予防と対応</b>  便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。	排泄の記録を元に排泄パターンの把握。水分補給やヨーグルト・牛乳を定期的に提供。予防として、排便体操や活動量を増やし対応している。食事にて便通の良いものを提供している。		
45	17	<b>○入浴を楽しむことができる支援</b>  一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている。	基本は2日に1回の入浴ペースで行っている。ご本人の意思に合わせて、時間の調整をしたり、同性の希望があれば希望に沿うように対応している。		

自己評価	外部評価	項 目( 2ユニット )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々 の状況に応じて、休息したり、安 心して気持ちよく眠れるよう支 援している。</p>	<p>日中の活動量を増やす、散歩に 行くなどその日の状況にもよる が、1人ひとりの習慣を考慮し 対応している。</p>		
47		<p>○服薬支援</p> <p>一人ひとりを使用している薬の 目的や副作用、用法や用量につ いて理解しており、服薬の支援 と症状の変化の確認に努めてい る。</p>	<p>医師の指示のもと、それぞれの 利用者の薬を把握するため、服 薬表を作成し、表で照らし合わ せ、服薬前・服薬後の確認をし ている。</p>		
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過 ごせるように、一人ひとりの生 活歴や力を活かした役割、嗜好 品、楽しみごと、気分転換等の 支援をしている。</p>	<p>それぞれの役割(家事動作・散 歩・趣味等)をもった生活がで きるように、また毎日続けられ るように支援している。</p>		
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそ って、戸外に出かけられるよう 支援に努めている。また、普段 は行けないような場所でも、本 人の希望を把握し、家族や地 域の人々と協力しながら出かけ られるように支援している。</p>	<p>行事レクのドライブ、近隣への 散歩、地域のふれあいミニサ ロンなどご本人の希望を聞い たりして、外出している。その 都度ご家族に、ご様子を報告 している。</p>		
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つこと の大切さを理解しており、一人 ひとりの希望や力に応じて、お 金を所持したり使えるように支 援している。</p>	<p>今現在ホームでお金を預かっ ている方はおられないが、ご本 人がお金の管理、持つことの 大切さ、思いがあれば必要に 応じて対応したい。</p>		



自己評価	外部評価	項 目( 2ユニット )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援  家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	ご家族へ連絡を取りたいと言われるときは状況に応じて対応している。また1名程度であるが、携帯を持っておられ毎日ご家族とやりとりしている。		
52	19	○居心地の良い共用空間づくり  共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	エントランスには写真を飾り、また民生委員の方が、季節感のある壁画を持ってきて下さり、玄関や居間に飾っている。		
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり  共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	畳や、ソファがあり思い思いにくつろげる空間がある。テーブルや椅子は1人ひとりに合った高さになっている。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮  居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	入所時にご本人の使い慣れたものや、愛着のあるものを持ってきてもらい、安心して過ごせるように工夫している。ご本人の状況の変化によっては、リハビリスタッフと相談しながらご本人の環境設定を工夫している。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり  建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。	ご本人ができることは見守りながら行って頂けるようにしている。手すりを使用・椅子の設置・補助具の設置場所等工夫している。		

V アウトカム項目( ) ← 左記( )内へユニット名を記入願います			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ毎日のように <input type="radio"/> ②数日に1回程度 <input type="radio"/> ③たまに <input type="radio"/> ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	<input type="radio"/> ①大いに増えている <input type="radio"/> ②少しずつ増えている <input type="radio"/> ③あまり増えていない <input type="radio"/> ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> ②職員の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③職員の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③利用者の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> ②家族等の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③家族等の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどできていない

(様式2)

2 目標達成計画

事業所名 グループホーム ラ・メール大野

作成日 令和 元年8月7日(水)

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点, 課題	目標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	5	身体拘束防止について早期解除に向けての(取り組み)カンファレンスや記録が不十分である。	カンファレンスの実施早期解除に向けて記録を残す。	カンファレンスを毎日実施。院内研修に年2回参加・グループホーム独自の勉強会を年2回行う。	一年を通して
2					
3					
4					
5					
6					
7					

注1) 項目番号欄には, 自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は, 行を追加すること。